



現在の和食ダム



和食ダムは、引き続き左岸再掘削を進めており、11月末時点で掘削予定高約100mのうち40m切下げたEL.123mを施工中です。年内の目標掘削高はEL.118mで、全掘削量約70,000m³のうち約20,000m³が完了する予定です。年間20,000m³～25,000m³を掘削する計画となっておりますので、後2年半～3年かかる予想です。

また、冬期中は北風に変わるため、これまでよりも掘削中の粉塵が予想されます。粉塵対策として、西谷ダムから汲み上げた水を掘削土押落とし箇所へホースにて散水を行います。安全と環境に配慮してより一層努力していきますので、今後ともよろしくお願いたします。

みのりの王国芸西フェスタ2019

満員御礼



11月17日(日)毎年恒例の『みのりの王国芸西フェスタ2019』が開催され、今年も和食ダムブースを出店させていただきました。毎年大好評の和食ダム見学ツアーには、地元を中心に多くの方にご参加いただき、受付約30分で午前・午後の部が満員となりました。誠にありがとうございました。来年以降も実施予定ですので、ぜひご来場・ご参加下さい。



和食ダムブース



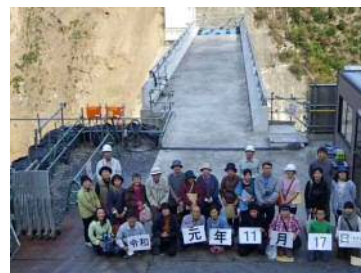
現場見学状況



工事概要説明状況



集合写真(午前の部)



集合写真(午後の部)



和食川 河川環境学習会

芸西小学校 4年生対象

室内学習



川の汚れやダムの役割
上下水道の仕組みについて学習

かっぱ公園 水質試験

パックテスト

沈澱・ろ過実験



10月11日に芸西小学校の4年生を対象に和食川の河川環境学習会を行いました。当日は曇りでしたが、川での生き物探しの際は、元気よく川へ飛び込んで行く生徒も見受けられました。最初は小学校の教室にて川の汚れや和食ダムの役割、上下水道の仕組みについて学習しました。芸西村の過去の浸水被害等の様子を紹介した時には、見慣れた風景の変貌に驚きの表情を浮かべていました。次に、和食川河口部のかっぱ公園へ場所を移し、和食川の水と自宅から持ってきてもらった様々な生活用水（米のとぎ汁やお風呂のお湯等）で水質実験を行いました。生活用水によって、河川が汚れる原因になることに驚きを感じるとともに、川を大切にしたいとの声が聞けて大変嬉しく思いました。最後に川に入り、和食川に棲む生き物探しを行いました。小さな魚や川エビなどたくさんの生き物を見つけていて、みんな楽しそうに学習を行ってくれました。和食川の環境やダムの役割について、理解を深めていただくために引き続き取り組んでまいります。



集合写真

芸西村の史跡紹介【第22弾】

こうざつば 《高札場》

おきてがき
こうざつば
高札場とは、江戸時代に、藩は掟書、禁令などを板に書き、人目につきやすいところへ掲示する場所であり、天保年間(1830～1844)に92箇所存在しました。高札には^{ちゅうこう}忠孝^{きりたん}厳守、貢物の皆納、切支丹や商売人の取り締まり、毒薬及び捨て馬に関する注意の六項目が書かれていました。地図に残されている和食の場所は、魚らん観音の上、旧国道南側の街道筋のようです。
こんびらとうみょうだい
次回は、『金比羅灯明台です』

